

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成 21 年 3 月 5 日

【評価実施概要】

事業所番号	3871000281		
法人名	有限会社 ユニット・ワン		
事業所名	グループホーム ユニットいよ		
所在地	伊予市灘町302-1		(電話) 089-997-3250
管理者	三浦 洋子		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 20 年 10 月 29 日	評価確定日	平成 21 年 3 月 9 日

【情報提供票より】 (平成 20 年 10 月 5 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 7 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	19 人	常勤 10 人, 非常勤 9 人, 常勤換算	10.9 人

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	6,000 円	
敷金	有()円 ○ 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円 ○ 無	有りの場合 償却の有無		
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,400 円		

(3) 利用者の概要 (平成 20 年 10 月 5 日事業所記入)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護 1	1 名		要介護 2	6 名	
要介護 3	4 名		要介護 4	7 名	
要介護 5	名		要支援 2	名	
年齢	平均 84.7 歳	最低 78 歳	最高	98 歳	

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	あり	指定認知症対応型通所介護
届出	あり	短期利用型共同生活介護
加算	あり	医療連携体制加算

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは道路沿いに建つ運営法人所有の3階建てビルの2階にあり、屋上からは港に停泊する船が眺められ、利用者は景観を楽しんでいる。介護計画は利用者本位に検討し、毎月評価して現状に即した計画を作成している。職員は利用者とのコミュニケーションを図り、馴染みの関係を築きながら「悔いの残らないお世話を」との基本理念の実践に努めている。運営者と管理者は全職員に研修受講を勧め、職員も積極的に受講してサービスの質の向上に努めている。管理者は介護の仕事に対して経験と熱意をもって取り組んでおり、職員間の人間関係も良好で、ホームは明るく楽しい雰囲気がある。

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)

評価の結果を活かし、地域行事に参加しながら交流と連携を図ったり、研修受講の機会を職員全員が確保できるよう計画してサービスの質の向上に活かすなどの改善に取り組んでいる。

▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)

評価の意義を職員全員が理解し、ミーティングで話し合い、管理者がまとめて作成している。

▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)

市担当者、地域代表者、ボランティア、利用者及び家族等をメンバーとして、3か月毎に開催している。参加者から意見やアイデアを出してもらい、地域行事や清掃活動に積極的に参加したり、歩道に面したホーム前に掲示板を設置してホーム行事の紹介等を掲示している。地域におけるホームの存在をアピールしながら地域密着型サービスに取り組んでいる。

▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)

重要事項説明書に苦情申立て先を明記し、玄関に意見箱を設置しているが、意見等は家族の訪問時や運営推進会議の中で直接伝えてもらうことが多い。出された意見や要望についてはミーティングで話し合い、その結果を家族に知らせ、運営に反映している。

▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)

町内会に入会し、秋祭り、夜市などの行事や町内清掃の奉仕活動に参加している。また、法人内の3事業所と合同で開催している運動会に家族や幼稚園児を招待して実施するなど、地域との連携を図っている。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
“愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。

- 「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

有限会社 ユニット・ワン

(ユニット名)

グループホーム ユニットいよ A棟

記入者(管理者)

氏名

三浦 洋子

評価完了日

平成 20 年 10 月 5 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 事業所の理念を心に留めながら、職員の間で気のついたことなどをミーティングで話し合い、自分たちの言葉での理念としてネームプレートの裏に記して入れてあります。 (外部評価) 地域密着型サービスの重要性を踏まえ、毎年職員で話し合い、達成度を考慮しながら具体的な年間目標を決めている。基本理念を玄関や居間に掲げ、職員の名札の裏にも明記している。	※	職員の間でアイデア・意見が出ればミーティングを行い、検討してその都度変更をしています。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 玄関に入ってからすぐに目に留まるよう、壁に理念を掲げて職員が自然に意識付けできるようにしています。 (外部評価) ミーティングやカンファレンスで理念について話し合う機会をもち、日々のケアの振り返りを行っている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 玄関口と2F(グループホームは2Fにあります。)に理念を掲げています。来て頂いた方にもすぐに見ていただけるようにしてあります。	※	理念の下に私達の目標もあります。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) いつでも出会は挨拶から!また玄関横に伝言ボードを設置しています。地域とユニットいよの“架け橋”として情報交換・交流の場として活用・利用していただいています。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 今年も町内の一員として、地域大掃除・土曜夜市・敬老会・縁日の準備・お神輿出しに声をかけていただき、参加しています。老人相談員の方が近所に居られますので、お付き合いをさせていただいています。 (外部評価) 町内会に入会し、秋祭りの神輿乗り入れや屋台出し、夜市への参加、町内清掃奉仕など、利用者と職員が一緒に関わっている。また、法人内事業所合同の運動会に幼稚園児や利用者家族等を招き、地域の方との交流に努めている。	※	町内会には毎年加入したいと思います。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 昨年町内の方からの希望で設置した伝言ボードを活用し、情報や話題の提供をしています。何かあればその都度貼りかえ、お知らせをしています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 前回の改善事項や新しい事の取入れなど申し送りやミーティングで話し合っています。 (外部評価) 評価の意義を職員全員が理解した上で、ミーティングで話し合って自己評価を作成している。外部評価結果を活かして、地域行事や奉仕活動への参加、職員全員の研修受講を勧めるなど具体的な改善に取り組んでいる。評価の取り組みや結果についての記録はなされていない。	※	改善計画表を作成し、改善目標と経過や結果を記録して、短期・長期の改善を計画的に取り組んでいくことを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議後は、ミーティングをして職員に会議の内容報告をしています。	※	利用者・家族の参加が少ないので、こまめに声かけをしたいと思います。
			(外部評価) 市担当者、地域代表者、ボランティア、利用者及び家族等をメンバーとして、3か月毎に開催している。ホームの取り組みや評価について報告や話し合いを行い、掲示板の設置、地域行事や奉仕活動等への参加など、参加者から出された意見や要望をサービスの向上に活かしている。	※	会議開催を2ヶ月毎にすることが求められる。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 市役所には更新やその他の手続きで出かける事も多く、挨拶や声かけなどで顔見知りになって来ています。		
			(外部評価) 市担当課へ書類を提出したりホーム側の資料を届けるなどして、馴染みの関係を築くよう努めている。また、セミナーの案内をもらったり、市職員の見学を受け入れるなど、相互に行き来する機会をつくっている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修後は報告し、研修内容の共有を図っています。資料などは必ず目を通す様にお互いに声をかけます。	※	研修後は報告し、研修内容の共有を図っています。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待は身体だけではなく、言葉・行動に関するもので、何気ない事で誤解を生じないように職員の間でもお互いに注意しながら防止に努めています。(自分が不快に感じることは相手にもしない・いわない。)		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約に関してはお互いに文章や言葉の理解に誤解が生じないように、家族・職員ともに複数参加に心掛けています。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ユニット独自の面会ノートの作成や、利用者一人ひとりに担当職員をつけるなど普段からコミュニケーションを取るようになっています。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 【ユニットいよ】通信を毎月発行。先月の報告と今月の予定をお知らせしています。 (外部評価) 毎月、ホーム便り、本人の暮らしぶりの写真、請求書を送付し、金銭管理は立替払いの出納簿のコピーを渡している。ホーム便りに年数回は担当者のコメントを個別に書くなどして家族に報告している。また、職員異動については担当職員等が報告している。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営に関して、家族から質問が出ることがあります。その時は会社に報告し説明をしています。その経過について職員に伝え、会議その他でも報告はします。またユニット入口に意見箱も設置してあります。 (外部評価) 重要事項説明書に苦情申立て先を明記し、玄関に意見箱を設置している。家族からは訪問時や運営推進会議の中で意見や要望が直接表出され、それらをミーティングで話し合い、その結果を家族に知らせ、運営に反映させている。	※	利用者・家族から意見や要望が出た時はミーティングをしてその内容を検討します。その結果を利用者・家族にお知らせします。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月1回ホーム長会を開き職員からの意見・要望希望などを会長・社長を囲んで話し合いをしています。終了後スタッフへの結果報告をしています。	※	自由な発言の出来る雰囲気を作るようにしています。
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 急変・突発に関しては職員がすぐに動けるように緊急連絡網を作っており、縦連絡でスムーズに行います。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 系列ユニットが近い事や、又共通のイベントがある事などで交流を持つ機会があり、利用者には違和感を感じさせないよう馴染みの職員はかわりを持つよう努めています。また、利用者の情報もきちんと伝達・共有することで、支援に支障がないようにしています。 (外部評価) 離職は殆どないが、法人内の異動がある場合も法人合同の行事やイベントでの交流を通じて利用者と顔馴染みの関係が既にできていることが多く、ダメージはあまり見られない。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修は個人の希望、あるいは特性を活かした内容に参加してもらっています。 (外部評価) 県グループホーム連絡協議会に所属しており、同会主催の研修情報を全員に知らせ、受講を勧めている。運営法人が奨励する研修への参加には旅費を援助している。職員は意欲的に受講し、受講者は報告書を作成し、職員全員で内容を共有している。	※	職員が必要としている研修の受講、あるいは目標を早く見つけて伸ばしていけるよう日々努めています。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 地元出身職員も多く、顔見知りや知人など交流の場は多いので、積極的に行っています。	※	地域での集まりには出来るだけ参加しています。
			(外部評価) 運営法人の他ホームとの交流や職員個々の交流、相互評価事業での交流等はあるが、組織として地域の同業者との交流ができていないとは言えない。	※	職員個々の交流を、地域の同業者との相互訪問や交流の機会にまで発展させ、地域全体のサービスの質の向上に取り組むことが期待される。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 傾聴する事・公平に接する事で信頼する気持ちをお互いに持つように努めています。	※	個人面談・親睦会などで自由な意見交換の場を作るようにしています。
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 傾聴は基本、職員の長所・特性を早く見つけるように努めています。	※	常に公平を心がけてます。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 笑顔を忘れずに・言葉は柔らかく・心温かく・・・がモットーです。喜怒哀楽を傾聴・共感するようにしています。	※	安心を受けとめて頂くための私達に出来る諸々の場面を想定し、満足の方向にいけるよう努めます。
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 希望・要望の傾聴。ゆっくりとお互いを理解するよう出来るだけ話し合いの時間をやりくりしています。	※	介入できるボーダーラインの見極めに気をつけています。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 必要な事が何であるか、将来的な事も含めて広義の見極めに心掛けています。	※	納得を得られるように有意義な話し合いをと考えています。
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 安心して頂ける場面・状況の提供を早めに見つける・作る事が出来るよう努めています。 (外部評価) 入居前に本人及び家族に見学してもらい、納得した上でサービス利用を開始している。本人と家族の考え方が一致しない場合は、家族に訪問してもらいながら徐徐に馴染めるよう工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 傾聴・共感そして歩み寄る心など・・・理解する努力をしています。 (外部評価) 職員は、たえず声かけをすることを目標として実践している。利用者から労いや感謝の言葉をかけてもらい、料理や諺を教えてもらうなどしながら、共に支えあう関係を築いている。	※	あなた（利用者）をもっと理解できるようになりたいと思います。
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 自分を相手の立場に置きかえてみれば、自ずと色んな事が見えてくるのでそのような方向でと考えています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) お互いを理解する気持ちを忘れないように、パイプ役としてのつとめを見つめるようにしています。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 地元出身職員がいる事がとてもよい情報提供となっています。但し、介入してはいけないボーダーラインは見極めていきます。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 上記と同じで、利用者自身が馴染みの方と共同生活する事の楽しさを理解し、助け合う気持ちを重ねていく方向への道を探しています。	※	地元出身職員が良い意味でのパイプ役になれるように努めています。
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 契約終了後も訪問や電話での交流は続けています。	※	在宅・入院の方への訪問・電話・お見舞いはこれからも持続していきます。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 利用者の背景を理解する力が身につくと、その事で見えてくる事が増えてきます。利用者のことをより多く知るように努めています。 (外部評価) アセスメントを基に声かけを行いながら、一人ひとりの意向や希望の把握に努めている。それが困難な場合は時間をかけてゆっくり話し合ったり、関係者に本人の情報を聞くなどしながら、思いや意向を把握するようにしている。	※	コミュニケーション・スキンシップなどでの理解の方法。ケースバイケースを見極める力を力まないで付ける。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 職員に地元出身が多い事が、情報の共有の手がかりとなっています。	※	家族の方との交流で情報を頂いたり、希望や要望の把握にも努めます。
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 個性を理解しながら、共生できる方向への声かけでたくさんさんの笑顔に結びつきたいと思います。	※	思いがけない潜在能力・知識などの見つけ出し・取り込みが出来ればとコミュニケーションを取っています。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 共に生活していくうちに、お互いが理解できるようになり、本音が出たり見えたりする事で介護計画が出来上がっていくようにしています。 (外部評価) アセスメントを基に介護計画を立て、毎月評価を行い、担当職員を中心に職員で話し合い、「本人の希望、したいこと、できること」という視点で個別の介護計画を作成している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 臨機応変も介護の常。普段からコミュニケーションを取る事で、立場は違っても理解に結びつくと思います。	※	今現在の優先順位の把握が出来るように考えています。
			(外部評価) 毎月評価を行って計画を見直し、変化が生じた場合は新たな計画を作成し、その都度家族に報告している。安定している場合は6か月毎に作成している。	※	毎月評価を行っているので、安定している利用者の場合も家族にも意見やアイデアを聞いて、6か月より短い期間で新たな計画作成に取り組むことが望まれる。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個別記録・ミーティング・申し送りの活用によってスタッフは情報の共有と把握に努めています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) ユニットいよは2Fが生活空間で多少不便ではありますが、窓からの景観、3F屋上からの伊予の海の景色などを楽しむ・・・不便を笑顔に転換しています。 (外部評価) 法事等のための外泊支援など、本人や家族の要望に応じて柔軟な支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) いろいろの社会資源とのかかわりで中で、地域の力を頂くことが増え協力の輪が広がってきています。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 本年度より、居宅介護支援事業所 ユニット・ワンが発足して、交流の場が広がってきました。	※	居宅介護支援事業所を通じて大いに交流を深めていきたいと思えます。
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) まだまだ勉強不足ですが、運営推進会議で包括センターの方に出席を依頼して仕組みその他の説明を頂きました。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 入居時、かかりつけ医師の確認をしています。但し、緊急時は利用者・家族の確認・許可を得て、適切な医療対応を行っています。 (外部評価) 緊急時以外は家族による受診を基本としており、受診結果を日誌に記録して把握し、適切な医療を受けられるよう配慮している。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 情報を集めています。	※	研修などのチャンスがあれば積極的に参加したいと思います。
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 定期的に往診・受診もあり、その際相談をしたり質問をしたりして健康管理の取り組みをしています。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時には家族⇄病院⇄ユニットいよの連絡がスムーズに出来るように連絡ノートを用意し病院に置いておきます。又、必ずお見舞いにもでかけ、情報を頂いております。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 入退院・年齢・既往など利用者の状態については、必要に応じて家族と話し合いの時間を持っています。話し合い終了後職員ミーティングをして経過報告をしています。 (外部評価) 重度化及び看取りに関する指針を作成し、入居時に本人及び家族と話し合い、同意を得ている。繰り返し話し合いを行いながら、関係者全員で方針を共有している。看取りの経験はまだないが、利用者の入院先からの連絡を受けて、最後のお別れをすることができた。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 出来ること・出来ないことを踏まえた上で利用者が一番したいこと・してほしいことに焦点をあて、会社ぐるみの支援を行なう事もあります。	※	会社ぐるみの支援方法は継続していきたいと思います。
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 入居前は基本的に本人・家族の見学をお願いしています。	※	入居に関して事前の見学は本人・家族共にお願いしています。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 言葉・態度などには充分の配慮をし、記録などの取り扱いも気をつけるようにしています。 (外部評価) 日々のケアの中で注意を払い、職員はミーティング等でプライバシーの重要性について話し合っている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 今年の私達の目標の中に(自立支援に努めます。)を入れました。普段のコミュニケーションやスキンシップの中から、感じ取れるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 利用者の希望は最優先ですが、ここは共同で生活しているという事の理解をもって頂く事も大切だと思います。利用者同士が妥協点・共通点を見つける事への説明もしています。 (外部評価) 一日の基本的な流れはあるが、起床や就寝時間、食事や入浴のタイミングなど、一人ひとりのペースを大切に、希望にそって支援している。	※	誰もが我慢ではなく共生をする事の意味を理解して頂けるように努めていきたい。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 起床時の身だしなみ、かがみの前での整容確認もしています。理容・美容は本人の希望を取り入れていきます。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 茶碗・湯のみ・箸・スプーン・マグカップなどは利用者のこのみで購入しています。入居時に馴染みの日用品として持参もお願いしています。 (外部評価) 一人ひとりの好みに配慮して調理に工夫したり、調理の下ごしらえなどを利用者と一緒にしながら、食事を楽しむことができるよう支援している。	※	もっと笑いながら、もっと楽しみながらゆっくりと食事が出来ればと思います。職員も出来るだけ早く同席して食事が一緒に出来るようにします。
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) オーダードリンク・手作りおやつ・タバコなどは利用者の体調・希望時間に合わせて楽しんでもらっています。	※	オーダードリンク・リクエストメニューは継続。新企画も考慮中。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) オムツ→ポータブルトイレ→トイレと利用者の体調、その日その日に合わせて臨機応変の対応をしています。又対応は利用者の納得も頂くようにしています。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 一日の流れはありますが、体調確認をし、声をかけ納得の上で入浴していただきます。窓を開けると伊予の海が見えます。 (外部評価) 週2回を基本に、本人の希望や体調に合わせて柔軟に支援している。入浴を拒否する利用者には、声かけを工夫しながら入浴を楽しんでもらえるよう配慮している。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 屋上に布団を干したり、シーツ交換は利用者で行なう事もあります。不穏時の傾聴・添い寝もたまにはあります。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) レクリエーションや買い物・散歩など、生活の中にメリハリをつけたり、お話の時間を作って利用者のその日の心を汲み取るようにしています。 (外部評価) イチゴ狩り、ハイキングなど毎月企画するイベントを楽しんだり、裁縫や折り紙の得意な利用者には特技を発揮してもらったり、社交的な利用者には接待役をお願いするなど、それぞれの生活歴や力を活かして支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 希望があれば買い物にも出かけます。又、ユニット内におやつショップを開設して買い物をする事もあります。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 外出場所(五色浜海岸・町家・灘町商店街)が近くにあるので散歩がてら出かけます。 (外部評価) ハイキング等に出かけるなど、毎月企画するイベントで外出機会を確保している。買い物や、ホーム行事のポスターを掲示板に張り出すなども利用者と共にしている。風景を見渡せる屋上で喫茶を行ったり花火を鑑賞することもあり、車いすの利用者も外気に触れる機会を多くもてるよう工夫している。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 季節の行事の中に外出を取り入れたり、希望にあわせて出かける事もあります。	※	お盆・お正月は特に利用者自身からの外出・外泊希望が出ます。利用者自身の馴染みの習慣だと思うので、家族への協力依頼の声掛けをしていきたいと思っはいます。
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話は各居室にあります。季節に合わせて年賀状・暑中見舞いなども利用者を書いて頂いています。郵便局にも一緒に出しに行きます。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 地元の方が通りすがりに面会に見えます。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 見守りを怠らない事で、身体拘束はしない方向に取り組んでいます。	※	身体拘束は基本的にはしない方向でのケアを探したいと思います。
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 玄関は外部からの訪問も考慮し、インターホンでの対応にしています。フロア・その他は開放しています。 (外部評価) 防犯のため施錠してインタフォンで対応しているが、ホーム内から戸外へはボタンを押して自由に出られるようにしている。外出傾向が強くとドアを壊す利用者への対応として一時的に鍵をかけることもあるが、家族の同意を得ている。	※	セキュリティに頼るだけでなく、職員の心がけに期待しています。
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 利用者の所在確認は常に行っています。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 危険なものに関しては利用者と家族を含め、十分に話し合ってから安全確認の上使用して頂いています。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) マニュアル本の作成をしました。その中に職員の気づきや意見も取り入れています。	※	自分の意見が活字になる事、その情報を職員の共有事項とする事等、事故軽減と職員の自覚・知識の向上につなげていきたい。


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) マニュアル本は常に目のつくところへ置き、緊急時の対応は日常の中で想定して学習している。ヒヤリハットがあった時はすぐに職員反省会と予防対策を話し合っています。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 避難訓練は一年に2回。自然災害はテレビのニュースなどを見ながら、その都度説明をしています。近々、伊予消防署で防災ビデオを借りて見ることにしています。 (外部評価) 消防署の協力による訓練と自主訓練を利用者と共に年2回行い、実施記録を作成している。車いすの利用者が多く、地域の協力が必要不可欠であるとの認識のもと、今後も継続して協力を要請していくことにしている。避難マニュアル及び緊急連絡網を整備している。	※	建物が3Fまであるので台風の時など避難について老人相談員の方などと情報の交換をしています。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 必要に応じて面会や電話の時などに、利用者の現状報告、将来起こりうる危険について説明、対応についての話し合いをしています。	※	ゴールではなく、その間の経過については必要に応じて話し合いの時間を取るように努めている。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 一日2回(9時・16時)のバイタルを行なって、医師・看護師への報告、身体の変化・発見の把握に努めています。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 既往症と薬の関係については、お薬手帳での確認や医師・看護師の説明・指導をもらいます。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 毎日の排便チェック表を夜勤が確認、日勤・看護師への報告本人に合わせた運動や食事内容の変更、服薬の把握に努めている。	※	利用者自身にも便秘について看護師より説明・声かけをしてもらっています。
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 食後3回の歯磨き、夜間の入れ歯洗浄などを行っています。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養士による指導、水分チェックも個別記録に記入しています。 (外部評価) 業者の献立を利用し、利用者の状態に応じて刻み食にするなど工夫している。食事及び水分摂取量を記録し、必要量を確保できるよう支援している。食べる量が極端に少ない利用者には血液検査等で健康状態を把握したり、おやつ等の捕食で適切に栄養摂取できるよう配慮している。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 勉強会参加・研修参加・手指消毒の徹底・健康診断など協力医師の指導を受けています。	※	定期的に健康診断・予防接種などを行なっている。
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 調理時の三角巾・マスク・手袋・煮沸・食器乾燥機の使用・調理用具・食器の消毒・注意事項のプリントを貼るなどの衛生管理には気を配っています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関周りのフェンスに花を置いたり、入り口に案内板・伝言ボードを設置など出来るだけ明るい雰囲気になるようにしています。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) エアコンの使用は特に気をつけています。出来るだけ自然風を取り入れるように声をかけて窓を開放。レースと生地の2枚カーテンの設置、壁には利用者・職員と季節にあった共同作品を飾り、季節の花をテーブルに置きます。 (外部評価) 共用空間は清潔で明るく、窓からの自然光や風を採り入れ、気になる匂いもない。季節の花や観葉植物、利用者手作りの作品や写真を飾り、居心地よく過ごせるよう工夫している。	※	室内の生活が多いので、季節感の取り入れには気をつけるようにしている。
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 和室や3F屋上の涼み台など、自由なスペースを用意しています。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 利用者の好きな家財道具やベッド・箆笥を好みに設置して頂いています。 (外部評価) 家族の協力も得ながら、テレビ、小ダンス、ベッドなど使い慣れた物を持ち込んだり、家族の写真、本人の作品、カレンダーなどを飾り、本人が居心地よく過ごせるよう工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 起床時・日中・入眠時など、その都度利用者に声をかけ体調に合わせて窓・カーテンの開閉を配慮しています。	※	自然風を取り入れる事や居室内に不快な臭いがこもらないように、換気には常に気をつけています。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 個々に合わせたイスの高さ(3種類)すわり心地など・家具の配置は安全を確認、利用者の遣い便りを優先して話し合いで設置場所を決定しています。	※	自立も大切ですが、無理をしないように声をかけていきます。
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 混乱や失敗(食器を割ったり、排泄トラブルなど)は特別ではなく、日常によくあることなのでその時助けたり、助けられたり心の交流が持てるように出来ればとの声をかけるようにしています。	※	失敗や混乱はよくあることなので、そのときに超えていけるような工夫を共に見つけ出せるよう考えていきます。
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 雑草取りをしたり、プランターにトマトを植えたり、花を植えたりとそれぞれの屋上の楽しみ方をしています。	※	参加してたのしむ・楽しませる、目で楽しむ・楽しませる。利用者同士の楽しみ方も考えています。

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者の (自己 ② 利用者の2/3くらい 評価) ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんど掴んでいない	言葉があるからその人が解かる・・事もあるし顔色や態度でわかる事もあります。思いや願いはその時その時で変わる場合もあるので、今日・今の心の理解を確実に積み重ね、本当に望んでいる事を掴むようにしています。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	(自己 ① 毎日ある 評価) ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない	例えば居室であったり、リビングであったり、屋上であったりと場面は変わるけれど少しずつ、ゆっくりタイムが取れてきています。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	グループホームは家庭生活であり、個々のペースを大切にと取り組んでいますが、利用者のレベルと個性を考えると、出来ていない部分もあります。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	納得して行った事が常に満足につながらない事もあります。「あなたでよかった。」とか「嬉しいです。」双方が自然に感謝の言葉が出た時、職員の表情の中に利用者が何かを感じ取ってくれるのではと思います。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	天気や体調、その日の利用者のスケジュールなどで延びる事もありますが、出来るだけ希望を取り入れるように調整していますが、特定の利用者に偏らないよう公平を心がけています。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	毎日2回(9時・16時)のバイタルチェックや主治医の往診・健康診断なども定期的であり、利用者の安心につながっていると思います。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	優先順位・臨機応変を頭に置いての日々の生活を心がけています。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	(自己 ① ほぼ全ての家族と 評価) ② 家族の2/3くらいと ③ 家族の1/3くらいと ④ ほとんどできていない	利用者全員担当職員をつけており、来所時にお話をしたり、必要に応じて電話もします。又、ケアプラン中に家族の希望・要望の取り入れも考慮しています。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	(自己 ① ほぼ毎日のように 評価) ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない	利用者の居室だけでなく、馴染みの方が見えた時はリビングでの会話も弾んでいます。屋上でパラソルの下でのお茶タイムも楽しんでられます。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	① 大いに増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	ユニットいよの入り口の伝言ボードは運営推進会議で町内の方からの要望で設置しました。地域とユニットいよの架け橋です。
98	職員は、生き活きと働けている	① ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	業務は自立の部分とフォローの部分の節度を持って行えば、生き活きと出来ます。そのバランスをお互いに考えています。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	「ありがとう！」「良かった！」この言葉が満足のバロメーターだとは思いませんが、利用者の口から自然に出てきています。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	【ユニット いよ】通信で先月の行事報告・今月の行事予定をお知らせするようにしています。イベントの時に家族の方が「予定表見たのできました。」「何時からですか？」との問い合わせの電話などを頂く事もあり、概ね理解・満足しているのではと思いますが・・・

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

利用者や家族・見学の方に「一日一回以上お腹の底から笑いましょう！」と、お話します。笑う事はとっても簡単。その時間を一人ひとり楽しむ事。良い事ばかりではないけれど、今の環境・状況を楽しむ力をつけたら、毎日「ありがとう！」の言葉がたくさん出ると思います。「ありがとう！」の言葉はきっと人を幸せにしてくれる・・・そう思いながら、日々大勢の方とのかかわりの中で生活をしています。

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 事業所の理念を心に留めながら、職員で気がついたことをミーティングで話し合い、自分たちの言葉で理念を実行するための事柄としてネームプレートの裏に書いて入れてあります。 (外部評価) 地域密着型サービスの重要性を踏まえ、毎年職員で話し合い、達成度を考慮しながら具体的年間目標を決めている。基本理念を玄関や居間に掲げ、職員の名札の裏にも明記している。	※	ミーティングをして、職員の間で意見が出ればその都度変更しています。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 玄関に入ってからすぐに誰にでも目に留まるように、壁に理念を掲げています。自然に日常的に身近な言葉として理念が意識の中に入ればおのずと実践に向かうと思います。 (外部評価) ミーティングやカンファレンスで理念について話し合う機会をもち、日々のケアの振り返りを行っている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価) 玄関口と2F(グループホームは2Fにあります。)に理念を掲げています。来てくださった方にもすぐ見て頂けるようにしてあります。	※	理念の下に私達職員からの目標もあります。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) いつでも挨拶を・・・から始めています。玄関横伝言ボードを設置してあり、町内からあるいはユニットからの情報を展示して地域の方との交流の場としています。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 今年も町内会に加入、地域の大掃除・土曜夜市・敬老会・縁日などに声をかけて頂いて利用者・職員が参加しています。老人相談員の方も近所に住んでおられるので助けていただいています。 (外部評価) 町内会に入会し、秋祭りの神輿乗り入れや屋台出し、夜市への参加、町内清掃奉仕など、利用者と職員と一緒に関わっている。また、法人内事業所合同の運動会に幼稚園児や利用者家族等を招き、地域の方との交流に努めている。	※	毎年町内会には加入したいと思います。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 伝言ボードを活用し、情報や話題の収集・提供に努めています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 前回の改善事項やそれを踏まえて新しい事への取り組みなどをミーティングで話し合っています。 (外部評価) 評価の意義を職員全員が理解した上で、ミーティングで話し合って自己評価を作成している。外部評価結果を活かして、地域行事や奉仕活動への参加、職員全員の研修受講を勧めるなど具体的な改善に取り組んでいる。評価の取り組みや結果についての記録はなされていない。	※	改善計画表を作成し、改善目標と経過や結果を記録して、短期・長期の改善を計画的に取り組んでいくことを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議には【ユニットいよ】通信を見ていただいてユニットでの行事内容・日常等を報告しています。	※	利用者・家族の参加が少ないので、こまめに声をかけたいと思います。
			(外部評価) 市担当者、地域代表者、ボランティア、利用者及び家族等をメンバーとして、3か月毎に開催している。ホームの取り組みや評価について報告や話し合いを行い、掲示板の設置、地域行事や奉仕活動等への参加など、参加者から出された意見や要望をサービスの向上に活かしている。	※	会議開催を2ヶ月毎にすることが求められる。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 市役所へは更新その他で出かける事も多く、挨拶や声かけなどで顔見知りになっています。その際広報も持ち帰り、いろいろな行事などにも利用者と目を通しています。 (外部評価) 市担当課へ書類を提出したりホーム側の資料を届けるなどして、馴染みの関係を築くよう努めている。また、セミナーの案内をもらったり、市職員の見学を受け入れるなど、相互に行き来する機会をつくっている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修に参加をし、内容報告で情報の共有を図っています。	※	研修後は報告し、研修内容の共有を図っています。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待は身体のみでなく、言葉や態度に関しても感じる事があります。何気ない事で利用者・家族・職員双方に誤解を生じる事がないよう注意を払って対応・防止に努めるようにしています。	※	自分に置き換える事で不快の現実（言葉・態度など）を理解するようにしています。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約に関してはお互いに言葉や理解に誤解を生じないよう、家族・職員共に複数参加としています。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ユニット独自の面会ノートの作成や、利用者一人ひとりに担当職員をつけるなど普段からコミュニケーションを取れるようにしています。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 【ユニットいよ】通信を毎月発行し日常をお知らせしています。時折担当職員のコメントを入れる事もあります。 (外部評価) 毎月、ホーム便り、本人の暮らしぶりの写真、請求書を送付し、金銭管理は立替払いの出納簿のコピーを渡している。ホーム便りに年数回は担当者のコメントを個別に書くなどして家族に報告している。また、職員異動については担当職員等が報告している。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) . (外部評価) 重要事項説明書に苦情申立て先を明記し、玄関に意見箱を設置している。家族からは訪問時や運営推進会議の中で意見や要望が直接表出され、それらをミーティングで話し合い、その結果を家族に知らせ、運営に反映させている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 適宜ミーティングを行い、その内容を1ヶ月1回の会長・社長参加のホーム長会議に議題として提案します。終了後、職員への報告をしています。	※	自由な発言の出来る雰囲気を作るようにしています。
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 急変・突発時には職員がすぐに対応できるよう、緊急連絡網を作っており、縦連絡もスムーズに出来るようにしています。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 系列ユニットが近くにあり、共通の行事も多くお互いに声をかけながら交流を持つ事で、利用者にも違和感のないように馴染みの職員は関わりを持っています。又利用者に対して職員は共有した情報のもと支援をする事で、ダメージの軽減を図っています。 (外部評価) 離職は殆どないが、法人内の異動がある場合も法人合同の行事やイベントでの交流を通じて利用者と顔馴染みの関係が既にできていることが多く、ダメージはあまり見られない。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修は個人の希望と、職員の特性を活かした内容への参加など考慮しています。 (外部評価) 県グループホーム連絡協議会に所属しており、同会主催の研修情報を全員に知らせ、受講を勧めている。運営法人が奨励する研修への参加には旅費を援助している。職員は意欲的に受講し、受講者は報告書を作成し、職員全員で内容を共有している。	※	職員が必要・希望している研修を受講、あるいは目標を早く見つけて伸ばしていけるよう日々努めています。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 地元出身の職員も多く、顔見知りや知人であることなど交流の場はいたるところにあります。	※	地域での集まりには出来るだけ参加するようにしています。
			(外部評価) 運営法人の他ホームとの交流や職員個々の交流、相互評価事業での交流等はあるが、組織として地域の同業者との交流ができていないとは言えない。	※	職員個々の交流を、地域の同業者との相互訪問や交流の機会にまで発展させ、地域全体のサービスの質の向上に取り組むことが期待される。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 傾聴すること、公平に接すること、先入観で見ないことなど、気持ちの取り組みから入っています。	※	個人面談・親睦会などで自由な意見交換の場を作るようにしています。
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 傾聴は全ての基本、職員の長所・特性を早く見つけ伸ばすように努めています。	※	常に公平を心がけています。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 笑顔を忘れずに、言葉は柔らかく、心温かく・・・がモットーですが、利用者と共に喜怒哀楽を傾聴・共感したいと思います。	※	安心を受け止めていただけるように努めています。
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 希望・要望の傾聴。ゆっくりとお互いを理解するよう出来るだけ話し合いの時間をやりくりしています。	※	介入できるボーダーラインの見極めに気をつけています。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 臨機応変・優先順位など、将来的な事も含めての見極めに心掛けています。	※	納得を頂けるように有意義な話し合いをと考えています。
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 安心していただける場の提供を早く見つける・作る事が出来るようにしています。 (外部評価) 入居前に本人及び家族に見学してもらい、納得した上でサービス利用を開始している。本人と家族の考え方が一致しない場合は、家族に訪問してもらいながら徐々に馴染めるよう工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 傾聴・共感そして歩み寄る心・・・利用者を理解するように努力しています。 (外部評価) 職員は、たえず声かけをすることを目標として実践している。利用者から労いや感謝の言葉をかけてもらい、料理や諺を教えてもらうなどしながら、共に支えあう関係を築いている。	※	あなた（利用者）をもっと理解したい。
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 相手の立場に置き換えて見れば、自ずといろいろな事が見えてくるので、その方向でと考えています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 影に日向にパイプ役としての自分の立場をきちんと保つことに努めています。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 地元出身職員がいる事で情報提供も豊富です。但し、介入のボーダーラインはきちんとわかまえるようにしています。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 上記に加味して、利用者自身が共同生活していく中で喜怒哀楽を感じ、お互いに馴染みの関係のなっていくように支援しています。	※	地元出身職員が良い意味でのパイプ役になれるように努めています。
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 契約終了後も訪問や電話・お見舞いなどでの関連は続けています。	※	在宅・入院の方への訪問・電話・お見舞いはこれからも継続していきたいと思います。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 利用者の背景を把握し、共感・理解する力を付けていくようにする事で、利用者をより多く知るように努めています。 (外部評価) アセスメントを基に声かけを行いながら、一人ひとりの意向や希望の把握に努めている。それが困難な場合は時間をかけてゆっくり話し合ったり、関係者に本人の情報を聞くなどしながら、思いや意向を把握するようにしている。	※	コミュニケーション・スキンシップなどでの理解の方法。ケースバイケースを見極める力を力まないでつけるようにしていく。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 職員に地元出身が多い事で、共有する情報が広がってきてサービスに結びついている事があります。	※	家族の方との交流で情報を頂いたり、希望や要望の把握に努めます。
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 個性を理解しながら、共生できる方向へ声をかけています。	※	思いがけない潜在能力が見つければとコミュニケーションをとっています。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 共に生活していくうちに、お互いが理解できるようになり、本音が見え隠れするその部分の把握で介護計画が立案するようにしています。 (外部評価) アセスメントを基に介護計画を立て、毎月評価を行い、担当職員を中心に職員で話し合い、「本人の希望、したいこと、できること」という視点で個別の介護計画を作成している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 臨機応変も介護の常。普段から、コミュニケーションを取る事で、立場は違っても理解に結びつくと思います。	※	今現在の優先順位の把握に努めます。
			(外部評価) 毎月評価を行って計画を見直し、変化が生じた場合は新たな計画を作成し、その都度家族に報告している。安定している場合は6か月毎に作成している。	※	毎月評価を行っているので、安定している利用者の場合も家族にも意見やアイデアを聞いて、6か月より短い期間で新たな計画作成に取り組むことが望まれる。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 出来るだけ細かい個別記録を記入し、ミーティングや申し送りを活用して情報の共有と把握につとめ介護計画に盛り込んでいる。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 【ユニットいよ】は2Fが生活空間で多少の不便はありますが、窓からの景観・3F屋上からの伊予の海の景色を楽しむなど不便を笑顔に転換するように考慮しています。 (外部評価) 法事等のための外泊支援など、本人や家族の要望に応じて柔軟な支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 地域との交流が広がってきているので、たくさんの方たちから頂いた情報をもとに、日常生活にメリハリをつけるようにしている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 居宅介護支援事業所も本年度発足し交流の輪が広がってきてたくさんの方から情報を頂き、それを参考にして話し合いをする事もあます。	※	居宅介護支援事業所を通じて大いに交流を深めていきたいと思っています。
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) まだまだ勉強不足ですが、運営推進会議で包括センターの方に出席を依頼して、お話を伺いました。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 入居時、かかりつけ医師の確認をしています。ただし、緊急時は利用者・家族の確認・許可を得て、適切な医療対応をしています。 (外部評価) 緊急時以外は家族による受診を基本としており、受診結果を日誌に記録して把握し、適切な医療を受けられるよう配慮している。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 現在は情報を集めている段階です。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 定期的に往診・受診もあり、その際相談をしたり質問をしたりして健康管理の取り組みをしています。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時には家族⇄病院⇄ユニットの連絡がスムーズに出来るように、病院に連絡ノートを置いておきます。お見舞いにも出かけ、話し合ったり情報をいただいて職員と共有するなど努めております。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 入退院・年齢・疾病など利用者の状態については、必要に応じて家族と話し合いの時間を持っています。終了後ミーティングをして、結果を職員に報告します。 (外部評価) 重度化及び看取りに関する指針を作成し、入居時に本人及び家族と話し合い、同意を得ている。繰り返し話し合いを行いながら、関係者全員で方針を共有している。看取りの経験はまだないが、利用者の入院先からの連絡を受けて、最後のお別れをすることができた。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 出来ること・出来ないことを踏まえて、利用者の一番したいこと・してほしいことに焦点を当て、会社ぐるみで支援を行った事もあります。	※	この支援方法は継続していきたい。
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 入居前は基本的に利用者・家族の見学をお願いしています。	※	入居に関して事前の見学は、本人・家族共にお願いしています。
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 言葉遣い・態度には十分に気をつけ、記録なども利用者につかず離れずさりげなくするようにしています。		
			(外部評価) 日々のケアの中で注意を払い、職員はミーティング等でプライバシーの重要性について話し合っている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 今年の私達の目標の言葉の中に（自立支援に努めます。）を入れました。普段のコミュニケーションやスキップの中から感じ取れるように努めます。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 利用者の希望は最優先ですが、ここは共同で生活しているという事の理解を持って頂く事も大切だと思います。利用者同士が妥協点・共感点を見つける事もお願いしています。 (外部評価) 一日の基本的な流れはあるが、起床や就寝時間、食事や入浴のタイミングなど、一人ひとりのペースを大切に、希望にそって支援している。	※	誰もが我慢ではなく共生という事の理解をして頂くようにしています。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 起床時は特に注意を払います。理容・美容は本人の希望を取り入れています。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 茶碗・湯のみ・マグカップ・スプーン・箸などは入居時に、普段から使っていたものを持参するように依頼しています。配膳・下膳も声掛けをして協力して頂いています。 (外部評価) 一人ひとりの好みに配慮して調理に工夫したり、調理の下ごしらえなどを利用者と一緒にしながら、食事を楽しむことができるよう支援している。	※	職員も同席してもっと笑いながら、もっと楽しみながら食事が出来るように努めます。準備などで職員の食事が遅れがちですが、一人は必ず視線介助のために利用者と一緒に進みたいと考えています。
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) オーダードリンク・手作りおやつ・季節の嗜好品・タバコなどは利用者の希望に添えるように声をかけて、リクエストメニューとしています。	※	オーダードリンク・リクエストメニューは継続。新企画も考慮中。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) オムツ・ポータブル・トイレと利用者のその日の体調に合わせて、臨機応変に対応しています。対応は利用者の確認・納得のもとで行います。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 一日の流れはありますが、あくまで利用者主体です。体調確認・声かけをして納得の上で一緒に入浴準備をします。お風呂の窓を開けると伊予の海が見えます。 (外部評価) 週2回を基本に、本人の希望や体調に合わせて柔軟に支援している。入浴を拒否する利用者には、声かけを工夫しながら入浴を楽しんでもらえるよう配慮している。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) お布団干しやシーツ交換は利用者で行なう事もあります。気持ちが落ち着かない時や状況に応じてそばで休む場合もあります。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) レクリエーションや買い物・散歩など、生活の中にメリハリをつけるようにし、お話の時間を作り利用者のその日の心を汲み取るようにしています。 (外部評価) イチゴ狩り、ハイキングなど毎月企画するイベントを楽しんだり、裁縫や折り紙の得意な利用者には特技を発揮してもらったり、社交的な利用者には接待役をお願いするなど、それぞれの生活歴や力を活かして支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 希望があれば買い物に行く事もあります。ユニット内におやつショップを開設して買い物をして頂く事もあります。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 外出・散歩などは近くの五色浜海岸・町家・灘町商店街・伊予灘防波堤にゆっくりと歩いたり車椅子で出かけたりします。 (外部評価) ハイキング等に出かけるなど、毎月企画するイベントで外出機会を確保している。買い物や、ホーム行事のポスターを掲示板に張り出すなども利用者と共にしている。風景を見渡せる屋上で喫茶を行ったり花火を鑑賞することもあり、車いすの利用者も外気に触れる機会を多くもてるよう工夫している。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 季節の行事の中に外出を取り入れたり、希望にあわせて出かせます。家族の方によっては家族のイベントで外泊や遠出もされます。	※	お盆・お正月などは特に利用者自身からの外出・外泊希望が出ます。利用者自身の馴染みの習慣だと思うので、家族への協力依頼の声掛けをしたいと思っています。
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話は各居室にあります。季節に合わせて年賀状や暑中見舞いなども利用者を書いて頂いています。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 地元の方がよく面会に見えます。居室・リビング・屋上と希望の場所でお話をさせていただきます。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 見守りに努める事で、身体抑制はしない方向で取り組んでいます。	※	身体拘束は行わない方向での対策を講じていきたい。
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 玄関は外部からの訪問などに考慮し、インターホンでの対応にしています。フロア・その他は開放しています。 (外部評価) 防犯のため施錠してインタフォンで対応しているが、ホーム内から戸外へはボタンを押して自由に出られるようにしている。外出傾向が強くとドアを壊す利用者への対応として一時的に鍵をかけることもあるが、家族の同意を得ている。	※	セキュリティに頼るだけではなく、職員の心掛けに期待をしている。
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 利用者の所在確認は常にしています。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 危険なものに対しては利用者・家族と一緒に十分に話し合ってから使用して頂いています。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 職員たちで資料を集めマニュアルを作成しました。その中に職員の気づきも取り入れて記載しました。常に目のつくところへ置いています。	※	自分の意見が活字になる、この職場の中で活かされて行く。自分の考えが役に立つという自信も出来、自発的に意見を出せるような雰囲気にしていきます。


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) マニュアルは常に目の着くところにおき、緊急時の対応は日常の中で想定しながら学習しています。ヒヤリハットが出た時は反省会と予防対策を話し合います。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 避難訓練は1年に2回。テレビで災害放送があったときなどにも、利用者と見ながら話し合いをしています。近々伊予消防署よりビデオを借りてみることにしています。 (外部評価) 消防署の協力による訓練と自主訓練を利用者と共に年2回行い、実施記録を作成している。車いすの利用者が多く、地域の協力が必要不可欠であるとの認識のもと、今後も継続して協力を要請していくことにしている。避難マニュアル及び緊急連絡網を整備している。	※	建物が3Fまであるので台風などの時の避難について、老人相談員の方などと情報の交換をしています。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 必要に応じて面会・電話の時などに、家族に利用者の現状報告や将来起こりうる危険等について説明・対応しています。	※	ゴールではなくその間のプロセスについては必要に応じて話し合いの時間を取るように努めている。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 一日2回(9時・16時)バイタルチェックを行って、医師・看護師へ報告、変化の発見・把握に努めています。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 既往症・薬についてはお薬手帳や看護師に質問したり説明を受けています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 毎日排便チェックをしています。日勤者・看護師への報告、利用者に合わせた運動や食事内容の変更・服薬の把握などに努めています。	※	利用者自身にも便秘についての説明を看護師にしてもらい予防対策としている。
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 食後3回の歯磨き、夜間の入れ歯洗浄をしています。適宜歯科受診もあります。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養士による指導、水分チェックも個別記録に記入しています。 (外部評価) 業者の献立を利用し、利用者の状態に応じて刻み食にするなど工夫している。食事及び水分摂取量を記録し、必要量を確保できるよう支援している。食べる量が極端に少ない利用者には血液検査等で健康状態を把握したり、おやつ等の捕食で適切に栄養摂取できるよう配慮している。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 勉強会に参加・資料の掲示・手指消毒の徹底・健康診断など協力医師の指導を受けています。	※	定期的に健康診断・予防注射など行なっています。
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 調理時の三角巾・マスク・手袋・食器の煮沸・食器乾燥機の使用、調理用具・食器の消毒・注意事項のプリント掲示など注意を払っています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関周りのフェンスに花を置いたり、入り口の案内板・伝言ボードを設置するなど出来るだけ明るい雰囲気になるようにしています。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) レースと布地のカーテンの設置、壁には利用者・職員で季節に合わせた共同展示作品を飾り、季節の花をテーブルに用意して居心地の工夫と話題の提供にも努めています。 (外部評価) 共用空間は清潔で明るく、窓からの自然光や風を採り入れ、気になる匂いもない。季節の花や観葉植物、利用者手作りの作品や写真を飾り、居心地よく過ごせるよう工夫している。	※	季節や生活は、テレビや暦そして外に出る刺激の中で、利用者自身の目や肌で感じる事が出来るように支援したい。
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 和室や屋上の涼み台・玄関フロアなど自由なスペースを用意しています。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 利用者の好きな家具・品物など好みに設置して頂いています。 (外部評価) 家族の協力も得ながら、テレビ、小ダンス、ベッドなど使い慣れた物を持ち込んだり、家族の写真、本人の作品、カレンダーなどを飾り、本人が居心地よく過ごせるよう工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 朝・昼・夜と利用者に確認を取りながら換気をしています。	※	自然風を取り入れる事、居室内に不快な臭いがこもらない事、常に換気には気をつけて、特に朝は窓を開けて新鮮な空気を取り入れています。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 小さな危険・考えられない危険などをいち早く察知できるようにになれば安全・安心に結び付くことを常に認識しておき、個々の身体機能に配慮した生活用品の配置など充分の気くばりで安全の確保に努めている。	※	身体機能にあわせた無理のない日常生活支援の方向を考慮しています。
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 混乱や失敗をする事で周りの利用者が援助できる力の発見。その事がお互いの理解につながり、共同生活を送る中で共生・共存の工夫が出来るように支援しています。	※	無理をしない事の声かけをします。失敗を防ぐこと。それを乗り越える工夫・努力の支援方法を見つけ出ししていくように努める。
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 外回りフェンスの花飾り、屋上のパラソルお茶タイムなど、広い空間を楽しめるようにしています。	※	参加して楽しむ・楽しませる、目で楽しむ・楽しませる。利用者同士の楽しみ方も模索しています。

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者の (自己 ② 利用者の2/3くらいの 評価) ③ 利用者の1/3くらいの ④ ほとんど掴んでいない	自己主張のある方と、自発語の少ない方といろいろな利用者がおられますので難しい面が沢山あります。出来るだけ希望に添えるように・・・と努めています。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	(自己 ① 毎日ある 評価) ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない	少しずつですが、最近ゆったりした時間が取れるようになりました。声かけと信頼関係の積み重ねだと信じています。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	自立・ほぼ自立・介助・全介助とそれぞれ利用者の個性を考えれば、それぞれのペースでの暮らしは出来てない部分もあると思います。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	納得して行った事が満足につながらない場合も多々あります。「あなたに助けてもらったね!」「あ～良かった!」そんな言葉が頂けた場面では利用者・職員共に生き生きしています。
92	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	天気や体調、その日の他の利用者のスケジュールなどで延ばして頂く事もありますが、出来るだけ希望の取り入れはしています。利用者レベルの事もあり、特定の利用者に偏らないようにしています。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	毎日2回(9時・16時)のバイタルチェックや主治医の往診・健康診断なども定期的であり、利用者の安心につながっていると思います。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	希望や状況に応じた対応の取り入れは出来ています。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	(自己 ① ほぼ全ての家族と 評価) ② 家族の2/3くらいと ③ 家族の1/3くらいと ④ ほとんどできていない	来所時のお話、電話での相談、ケアプランでの家族希望の取り入れなど必要にあわせて組み込んでいます。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	(自己 ① ほぼ毎日のように 評価) ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない	利用者の居室だけでなく、馴染みの方も多いのでリビングでの会話も弾んでいます。屋上でのお茶タイムも楽しんでおられます。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	① 大いに増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	ユニットいよ入り口の伝言ボードは運営推進会議で地域の方からの要望で作ったものです。地域とユニットの架け橋です。
98	職員は、生き活きと働いている	① ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	仕事は自立の部分とフォローの部分を持てれば生き活きとできます。そのバランスをお互いに考えて行動しています。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	「ありがとう！」この言葉が利用者・家族・スタッフから、自然に出ています。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	【ユニットいよ】通信で行事報告・行事予定をお知らせするようにしています。イベントの時、顔を見せてくださる方もあり、いろいろなサービスの内容を家族が理解して下さって、協力になっていると感じます。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

利用者・家族・見学の方に「一日一回お腹の底から笑いましょう！」と、お話しします。笑うことはとっても簡単。その時間を一人ひとり楽しむ事。良いことばかりではないけれど、今の環境を楽しむ力をつけたら、毎日「ありがとう。」の言葉が出ると思います。「ありがとう。」の言葉はきっと人を幸せにしてくれます。